

減災力の強いまちづくり

シリーズ⑱

台風 19 号は大きな被害をもたらしました。

～自らの命は自ら守る～

10月12日(土)、大型で強い勢力を保ったまま山梨県に最接近した台風19号により、北杜市に初めての特別警報が発令され、農地、林道、水道施設、市道など市内全域に大きな被害をもたらしました。

気象状況

総雨量は、須玉町瑞牆山 246^{ミリ}、大泉町 144^{ミリ}、白州町大平 546^{ミリ}、白州町日向山 396^{ミリ}、最大風速 14.2 m、最大瞬間風速 25.2 m を記録しました（観測値は、甲府地方气象台、国土交通省、山梨県）。

市の対応

10月9日(水)から災害対策本部を設置し、避難所の準備を進め、12日(土)朝市内全域に避難準備・高齢者等避難開始を発令、午前11時30分白州町・武川町の一部に避難勧告、午後1時市内全域に避難勧告を発令しました。開設した14箇所の避難所に、482世帯、1,048人が避難しました。

各地域の状況

10月23日(水)、北杜市代表区長会を開催し、各地域における台風への対策、課題等について意見を伺いました。防災行政無線の運用、避難指示の発令基準、避難所の設備に関する、課題や共助の重要性、一時避難所での区未加入者等への対応、自主防災組織での避難所の開設など、地域が行なった台風への対策も報告されました。（※一時避難所とは、各地域などで決めた避難所です。）また武川町では、自主防災組織を考える会が中心となり検証を行いました。

北杜市防災訓練（災害対策防災会議）

10月27日(日)、台風19号への対策とその課題を全庁的に検証し、ドローンによる被害状況の確認、防災行政無線の活用と補完方法、共助力を高めるための周知、避難所の運営と整備などについての課題と対策を検討しました。

その時あなたはどう動いたか

各地域で自主的に公民館など、30の施設を避難所として開設し約300人の避難者がありました。自主防災組織が中心となり、台風19号の際の行動の反省と、災害時の一人ひとりの役割などについて、区長や学校、避難者、市と意見交換を行い、今後の対策へ一つでも多く反映できるよう確認をしました。



職員の防災対策の意識統一のために（災害対策防災会議）



避難所の様子

避難とは

避難勧告を発令後「避難したほうがいいのか」との問い合わせが多くありました。

避難の目的は「命を守る」ことです。

自分の命は自分で守る「自助」、自分の命が守れたら周りの命を守る「共助」ができるよう、平常時から住んでいる所の地形や土砂災害の危険性をハザードマップなどで確認し、安全な場所や避難経路、避難するタイミングと併せ、自ら考え行動することで身の安全を守れるように準備しておきましょう。

自分たちの地域は自分たちで守る～自主防災組織～

支えあう関係づくりで地域の防災・減災機能を高めるよう、自主防災組織について考えて見ましょう。

自主防災組織の作り方は、行政区域や班など、すでに地域内に存在する住民組織を活用する方法があり、台風19号の際にも共助の重要性が再認識されました。

地域の防災体制作りを応援するための出前塾や地域減災リーダー育成、資機材購入の補助制度もありますので、ご活用ください。

防災行政無線が聞き取りづらい

台風19号の際にも「防災行政無線が聞き取りづらい」との問い合わせがありました。

市では、防災行政無線を補完するシステムとして、「ほくとほっとメール」「電話応答システム」で対応しております。(L字放送、FM 八ヶ岳、市ホームページをご視聴ください)

ほくとほっとメール

防災行政無線の内容をメールで受け取るシステムです。

毎月発行する広報ほくとで、簡単に登録できるQRコードを掲載しておりますので、防災行政無線の聞き逃しや聞き取りづらい、といったことが解消できます。また、繰り返し確認することもできますので、ぜひ、登録をしてください。

電話応答システム

24時間以内に市内全域へ流れた防災行政無線の放送内容を電話で確認することができます(通話料がかかります)。**電話番号 42-5581 42-5582**

防災ラジオ

「災害時における放送要請に関する協定」に基づき、避難情報などを発信します。防災ラジオ購入費の一部を市で補助します。

倒木による被害を防ぎましょう

台風の影響により傾いたり弱ったりした木は、積雪や強風により隣家や電線に倒れて建物破損や停電の原因になるケースがあります。

私有地の樹木を管理し、倒木による被害を減らしましょう。



北杜市ハザードマップQRコード



山梨県土砂災害QRコード



北杜ほっとメール登録用QRコード



川の水位情報QRコード

地域課 TEL 42-1323
FAX 42-1122